

【高付加価値型農業の実践を目標としている事例】

合鴨農法による有機栽培の実践に取り組む！

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	北海道 <small>いそやぐんらんこしちやう</small> 磯谷郡 <small>らんこしかみ</small> 蘭越町 蘭越上			
協定面積 (ha)	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地
	9.5ha			
交付金額 (万円)	個人配分 64万円 (35%)			
	共同取組活動 135万円 (65%)	水路・農道の管理		フラワーロードの設置
		農道の補修・改良		農作業の共同化
		高付加価値農業の実践		認定農業者の育成研修
修学旅行生及び都市住民等との連携				
協定参加者	農業者～2名			

2. 集落マスタープランの概要

〔活動内容〕

農業生産活動等

- 農地の耕作・管理
9ha
※対応～個別
- 水路・農道の管理
 - 水路 1.3km
清掃、草刈 年2回
 - 農道 1.5km
草刈 年2回
 ※対応～共同取組

多面的機能増進活動

- フラワーロードの設置
集落の主道路の全延長 280mにプランターを設置
※対応～共同取組

農業生産活動の体制整備

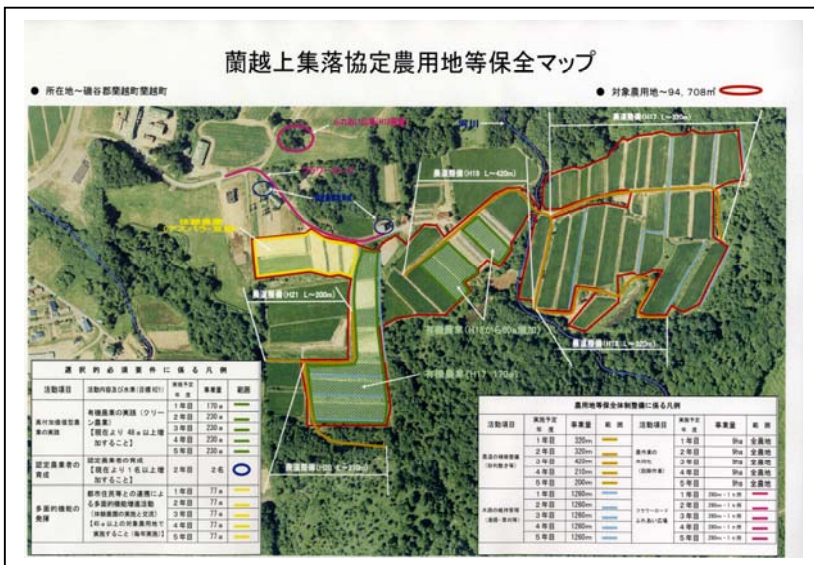
- 農道の補修・改良
総延長 1.5km
※対応～共同取組
- 農作業の共同化
全農用地を対象とする防除作業
※対応～共同取組
- 高付加価値農業の実践
イエスクリーン農業の実践～230a
※対応～共同取組
- 認定農業者の育成研修
年2回の実施
※対応～共同取組
- 修学旅行生及び都市住民等との連携
体験農園を実施して都市住民との交流を図る。
年4回延べ50人
※対応～共同取組

3. 取組の経緯及び内容

本集落は、平成12年度に協定の対象となる農用地において、耕作放棄地の発生を防止し、将来にわたって持続的な農業生産活動等を可能とすることにより、本集落の持つ多面的機能の確保を図るため協定締結した。

締結後は農地の保全に関する活動に集落全体で取組み、耕作放棄地の防止に努め、その後、体験農園を実施し、修学旅行生及び都市住民を受け入れながら交流を図るなど、広く農業生産活動や当制度の必要性をPRしている。また、新制度移行後はイエスクリーン農業を実践するなど、当制度を有効活用しながら、将来を見据えた農業生産活動と農用地の保全に積極的に取り組んでいる。

○農用地等保全マップ



【マップの解説】

- ・航空写真と連結させることでより見やすくリアルにイメージできる。
- ・凡例と実施場所の目標設定を同色で色分けすることで、一目で把握できる。

○合鴨農法による有機栽培の実践（約20aの水田で実践）



【合鴨農法】

合鴨は田んぼに生える雑草やイナゴなどの害虫を食べてくれます。また、合鴨が泳ぐことで酸素が土に混ざり、根から吸収され、合鴨のフンは肥料になり稲が良く育ちます。よって、合鴨農法は「完全無農薬有機栽培」なのです！

【平成21年度までの取組目標】

- 農作業の共同化を図る（防除作業～9.5ha）
- イエスクリーン農業の実践（合鴨農法及び減農薬農法を実践する。面積～230a）
- 認定農業者の育成研修（農業技術の向上を図るため、年2回開催する）
- 体験農園の実施（修学旅行生及び都市住民との交流を図る。実施面積～45a）